

# 緑の社会はわたしがつくる 会員発プロジェクト



2024.1.10 運営委員会（社会運動部）

「会員発プロジェクト」は、緑の党内で同じ関心をもつ会員の自発的活動によって始まる持続的なプロジェクトで、社会運動の多様な側面を担います。緑の党の活動がより活発になり、市民団体をはじめ、幅広い団体・個人と連携し、「緑の社会」実現にむけて前に進むことを目的とします。

現在、8 プロジェクトが登録されています。新しいプロジェクトの発足も歓迎です。どうぞ奮ってご参加ください。

会員発プロジェクトのルールと申請登録用紙、各プロジェクトの概要・連絡先などは HP に掲載しています。登録用紙もダウンロードできます。

➔<http://greens.gr.jp/member-senkyo/kaiinpj/>

- オルタナミーティング
- STOP リニア
- ソーシャルシネマクラブすぎなみ
- 林業プロジェクト
- 会員・サポーターメーリングリスト
- 「動物との共生」プロジェクト
- 3.11 を忘れない GJ
- 脱成長・気候正義プロジェクト

各プロジェクトより、2023 年度の活動報告と 2024 年度の活動計画・抱負をお届けします。

## ■オルタナミーティング（ライブイベントプロジェクト）

2023 年は企画が実行できない年でした。

2024 年は、神田香織さん(講師)の「はだしのゲン」など社会的テーマのイベントを企画していきます。

## ■STOP リニア

### 2023 年活動報告

◎ストップ・リニア！訴訟不当判決

2016 年 5 月の提訴から 7 年、リニア工事計画の認可取り消しを求めた裁判は、25 回の口頭弁論を経て、今年 7 月に判決が確定しました。（一審）「原告の請求を棄却」という不当なものです。山梨実験線で既に出ている被害の事実さえ評価することなく、沿線住民の原告らが提示した環境影響評価や事故時の安全等、数々の論点について司法が真剣な検討をしたのか疑問です。被告である国・JR 東海側の主張が鵜呑みにされた、責任放棄としか考えられない不当判決でした。原告・弁護団は「上訴審で最後まで戦いつづける」としています。

◎リニア中間判決公訴審

上記訴訟の原告のうち、2/3 にあたる 532 名の「原告適格を認めない」とする中間判決に対して、166 名の原告が不当判決として東京高裁に控訴した裁判の判決が出ました。相模川の水を飲料とする原告 34 名と、愛知県の残土搬出所から 200 メートル以内の 2 名の原告が認められました。

一部勝訴です。詳しくは➔<https://linearstop.wixsite.com/mysite>

◎大深度地下地質・地盤調査 品川区・町田市・川崎市・春日市での調査は進行が各地域でバラバラで、計画通りには進んでいません。特にシールドマシンの故障などで品川区、春日市では工事が中断。危険な調査掘進は中止するよう、地域の市民が声を上げているところです。

◎全体に用地買収ができていない地域、残土処理の未確定の地域も多く、特に静岡県大井川原流域の水問題は未解決、工事は未着手のまままた1年経ちました。各地で反対運動が拡がるとともに、「本当に必要?!」、古い計画の無理な実行に批判が出ています。原発の電気に頼り、生物多様性を損ないながら、数十分のスピードアップが価値があるのか、改めて問われています。

## 2024年抱負

計画の遅れ、トラブルの続出で、完成がますます見通せないリニア中央新幹線は、できるだけ早期に工事を終わらせることでしか環境を守れません。24年も引き続きメンバー地域の活動と訴訟、沿線のつながりで協力していきます。

## ■ソーシャルシネマクラブすぎなみ（ドキュメンタリー映画プロジェクト）

2023年は企画ができない年でした。

2024年は、ユナイテッドピープル社との連携で、4月から(予定)映画上映会を再開します。

作品候補：「もったいないキッチン」「プラスチックの海」「気候戦士」「武器輸出の闇」

## ■林業プロジェクト 根田 栄勝

### <年次報告・計画>

- 1 前代表・設立者の突然の退会（緑の党から退会）により、とりいそぎ当プロジェクト 継続のため、メンバーの意志等を確認中です。
- 2 党外の繋がりもあり、党としての信用を維持するためにも、当座 継続を予定しているところです。
- 3 とりあえず、来期においては、少なくともメンバー共通のベースとなる、基礎的知識または基礎的データを共有すべく、1冊の書籍を用いた上で「輪読会」的なものを、開催・継続したいと考えています。

このため、現在 PDF を順次作成しております。

- 4 願わくば、「農業」と「畜産」と「林業」は、三位一体の関係にあることは自明であることから、それらの活動者・活動団体とも、親睦を図れば幸いと考えています。個人的な繋がりながら、細々と進行しております。
- 5 その他、講演会・見学会・研修会等の開催・出席も 1~2 回行いたいと思います。過去にお願いした方々を中心に、名刺等の整理等しております。

## ■緑の党会員・サポーターメーリングリスト 尾形慶子

### <2023年活動報告>

緑の党会員・サポーターメーリングリストは、2023年の1年間に1,161通のメールが会員・サポーターのあいだに投稿され、「緑」の社会を創るための有用な情報共有に役立てられました。

福島原発事故から12年が経ち、気候変動はますます深刻です。ロシアのウクライナから撤退のめどはたたず、一方でパレスチナ・ガザでは目を覆うばかりの残虐なジェノサイドが行われています。平和を脅かされている世界において、緑の党会員・サポーターは、当メーリングリストを通じて連帯を深め、情勢に立ち向かっています。

### <2024年抱負>

2024年は元旦の能登半島地震で明けました。私たちは困難な時代に分断を乗り越え、協力しあって気候正義を追求するために、緑の党会員・サポーターメーリングリストを利用してもらいたいと思います。

## ■動物との共生プロジェクト 和高 美樹

### <2023年度の活動>

- ・2月、8月、12月：元繁殖犬と児童養護施設を「ふれあい訪問」
- ・地域猫活動と野良猫・タヌキの治療（6月、11月）

毎日の野良猫のえさやりの中で、負傷したたぬきと遭遇し、数日間えさやりと投薬を行った。サギやリスも迷い込んできた。冬眠前や、空腹、病気・けがなどで住宅地に出現する野生動物が増えている。放置したり、むやみに保健所に連絡したりするのではなく、自然に帰す手助けをする心構えが広がって欲しい。県や市は、基本的に希少動物以外は治療しない。

- ・8月、12月：駅前「わんコイン募金」活動。殺処分反対、香川の譲渡ボランティアの支援。
- ・12月 昨年に続き「香川県下の野犬の捕獲について、命を守ることを求める公開質問書及び要請書」を香川県・観音寺市・高松市に送付。昨年知事は全国一の野犬の殺処分数について「喫緊の課題」として取り組むと返答したが、その具体的な取り組みについて、また「人馴れしない野犬は動物の福祉の観点から殺処分せざるを得ない」との返答に、「動物の福祉」の考えを問い直す内容。

### <2024年の活動予定・抱負>

- ・わんコイン募金、ふれあい訪問、地域猫活動、動物実験反対、公開質問（殺処分に関して）。
- ・「動物愛護法」は依然としてペット動物のみを対象とし、家畜や実験動物はおきざりにされている。行政のみに期待するだけでなく、私達一人一人が日常生活の中で、動物実験をしていない化粧品にかえたり、企業に声を届けたり、住宅地に現われる野生動物が増えている背景に理解を示したりできる。声をあげアクションをし続けることで、必ず変えられる。

## ■3.11を忘れないGJ 小笠原学

### <2023年報告>

募金活動（講演会等）を通して、原発事故被災者の支援を行っている団体（チーム「3.11を忘れ

ない」)に協力・支援することで、福島原発事故の風化を防ぎ、被災者の支援を行いました。

1) GG 大会プレゼン資料作成 6月10日プレゼン発表

2) 第3回「3.11を忘れない」チャリティーイベント実施

12月3日オンラインにて実施

3団体へ寄付(国内避難民の人権に関する国連特別報告者の報告書を活用する会:3万円・これ

以上海を汚すな!市民会議:3万円・日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ:

3万円)



GG 大会プレゼン資料

チャリティーイベント

## <2024 年抱負>

今後も街頭募金・講演会活動に協力・支援し、原発事故の風化予防と被災者支援活動を継続する。

## ■ 脱成長・気候正義プロジェクト

### <2023 年の報告>

- ・月に1回の頻度で定例会議を行い、情報共有と意見交換を行った。
- ・2023年の前半は統一自治体選挙があるので、活動は休止。
- ・GG大会での「脱成長と緑の政治」の報告を行った。
- ・11月の地域代表協議会に、2024年総会へ脱成長議案の予定と問題提起を行った。
- ・その後、脱成長議案の賛同者の意見交換会を2回行った。

### <2024 年の方針>

- ・1月に脱成長をめぐる江守正多さんをゲストに迎えた意見交換会を行う。
- ・「脱成長・気候正義」を緑の党内外に広める活動を、講演会などの企画として行う。
- ・月1回程度の頻度で定例会を行う。